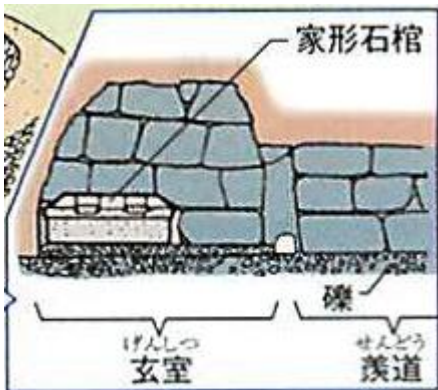


日本史 課題確認テスト(5)

1. 朝廷の直轄地を何とといいますか。5世紀末以降、反乱を起こした豪族の私有地を接収しながら各地に設置して支配を強化していきました。
2. 上記1に関連して、豪族の私有地のことを何とといいますか。
3. 豪族の私有民を何とといいますか。この私有民から朝廷の直轄地を耕す田部や皇族の生活物資の生産のための名代・子代の部が割かれました。
4. 職能団体を伴といい、その長が伴造ですが、伴造に従う職人集団を何とといいますか。渡来人はこれに編成されました。韓鍛冶部や錦織部、陶作部などがあります。
5. 田部、名代・子代の部、上記3や上記4のような従属民の総称のことを何とといいますか。
6. 以下の地図【A】にある古墳は「獲加多支鹵」の文字が刻まれた鉄刀が出土していることで有名です。なんという古墳ですか。



7. 追葬が可能な以下の構造を持つ石室を何とといいますか。



8. 大王の古墳は終末期どのような形態の古墳になりますか。
9. 中期から葬送儀礼用にかけて作られるようになった人物・動物などの埴輪を何埴輪とといいますか。
10. 前方後円墳が巨大化していった時期を代表する古墳のうち仁徳天皇陵とされる古墳を何古墳とといいますか。

年 組()氏名
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

採点者

得点